

## この場におよんでも一方的な休日出勤解消の見込みを示さない会社

3月3日、本部は闘申64号（一方的な休日出勤の早急な解消を求める申し入れ）についての業務委員会を開催しました。

会社は、「輸送量を長期的スパンで想定することは極めて困難」「需給対策を通じて相当程度改善できればと考えている」と、従来通りの回答を繰り返しています。さらに、6月までの春臨が計画されているにもかかわらず、会社は「休日出勤が何泊発生するかはわからない」「わかり次第会社からお知らせする」と主張しました。本当にわからないでしょうか？明らかにごまかしです。

私たちは、指名ストにより、新幹線乗務員の需給対策を出さざるを得ない状況に会社を追い込みました。会社は、ユニオンに要求を出させて、ユニオンの成果に見せかけるよう、姑息な手段を使いました。3月18日ダイヤ改正後、一方的な休日出勤指定者はJR東海労以外の極わずかの人のみです。すると、会社にしてみれば、JR東海労との業務委員会で「休日出勤が〇〇日解消できる」と回答してはならないのです。JR東海労が回答を引き出しては困るのです。だから、「会社からお知らせ」しなければならないのです。

私たちは、休日出勤解消まで闘争を貫徹しよう！

春臨計画が出てきているのに、  
「休日出勤の予定はわからない」  
これはごまかしだ！